

## 筑前海及び有明海各県海域における秋季海況の見通し

第85回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁況海況予報会議 生産力分科会  
 (2006年9月4日開催)において各参画機関より報告された、平成18年度秋季の筑  
 前海及び有明海各県海域における海況の見通しは以下の通りです。

なお、この見通しは、九州北部地方の気象の3か月予報(九州管区气象台8月24  
 日発表)及び各県海域における8月の海況概況をもとに予想されたものです。

海域	項目	秋季海況の見通し
筑前海	水温	平年並み～やや高めで推移するでしょう
有明海 (福岡県海域)	水温	高めで推移するでしょう
	塩分	平年並みで推移するでしょう
	DIN	平年並みで推移するでしょう ただし、植物プランクトンの増殖により減少する可能性も考えられます
有明海 (佐賀県海域)	水温	高めで推移するでしょう
	塩分	平年並みで推移するでしょう
	DIN	植物プランクトンの増減次第で変動幅が変わってくると考えられます
有明海 (長崎県海域)	水温	高め傾向で推移するでしょう
	塩分	平年並み～低めで推移するでしょう
有明海 (熊本県海域)	水温	平年並み～高めで推移するでしょう
	塩分	平年並みで推移するでしょう ただし、台風等による大雨により、宇土半島地先から荒尾地先の海域では、一時的な塩分の低下もあり得るでしょう
	DIN	平年並みで推移するでしょう

参画機関：福岡県水産海洋技術センター  
 佐賀県有明水産振興センター  
 長崎県総合水産試験場  
 熊本県水産研究センター  
 西海区水産研究所